

イーストスプリング・ グローイング・アジア株式オープン

追加型投信／海外／株式

第20期(決算日 2017年6月20日)

作成対象期間(2016年12月21日～2017年6月20日)

第20期末(2017年6月20日)	
基準価額	10,231円
純資産総額	5,917百万円
(2016年12月21日～2017年6月20日)	
騰落率	11.3%
分配金合計	100円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン」は、2017年6月20日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行いました。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

[お問い合わせ先]

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

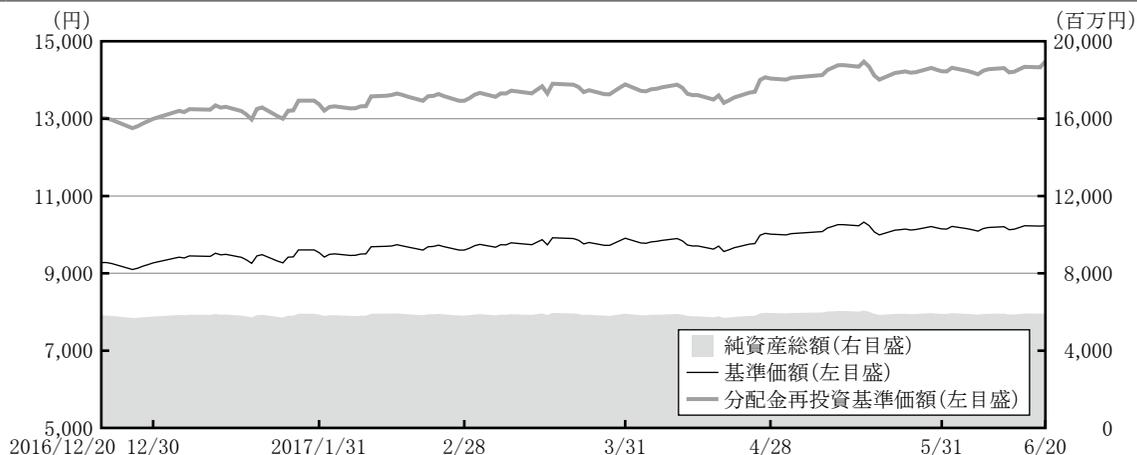
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第20期:2016年12月21日から2017年6月20日まで)



第20期首	9,278円
第20期末	10,231円(既払分配金100円)
騰落率	11.3%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。アジアの株式市場が上昇したことがプラス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/12/21 ～2017/6/20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	70円	0.716%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、9,746円です。
(投信会社)	(31)	(0.323)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(37)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.031	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.014)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	73	0.747	

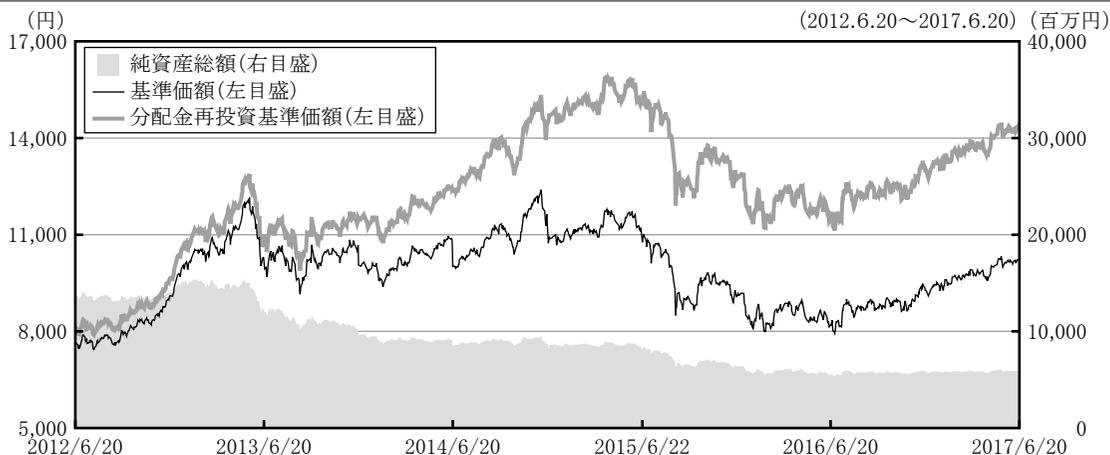
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2012/6/20	2013/6/20	2014/6/20	2015/6/22	2016/6/20	2017/6/20
基準価額 (円)	7,568	10,180	10,011	10,767	8,193	10,231
期間分配金合計(税引前) (円)	—	200	1,400	1,400	0	100
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	37.2	12.5	21.9	△23.9	26.1
純資産総額 (百万円)	13,616	12,164	8,402	8,114	5,529	5,917

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

当期におけるアジアの株式市場は堅調に推移しました。

期初は新興国からの資金流出懸念が一巡したことに加え、米国株式市場やコモディティ価格が堅調に推移したことを受けて2017年2月下旬まで堅調な展開となりました。3月の米連邦公開市場委員会(FOMC)の前には様子見姿勢が強まる場面がありましたが、FOMCで今後の金利見通しに変更がないことが示されると安心感から株式市場は再度上昇しました。4月上旬にはシリア・北朝鮮における地政学リスクの高まりを背景に横ばいとなりましたが、落ち着きを取り戻すと反発に転じました。その後も好調なIT株に牽引された中国や改革期待に支えられたインドなどを中心にアジアの株式市場は期末まで堅調に推移しました。

○為替市況

新興国からの資金流出懸念が一巡したことや米国トランプ政権による政策実行の不透明感から米ドル安が進んだことを受けて、多くのアジア通貨は対米ドルで上昇しました。一方、円高米ドル安が進んだことを背景に多くのアジア通貨が対円で下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

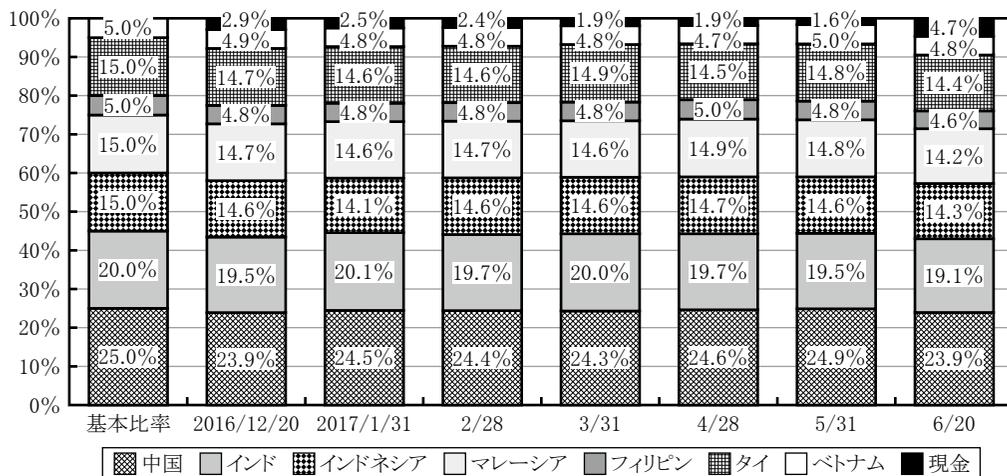
主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド(米ドル建て)の投資信託証券に投資を行いました。国別の組入比率については基本配分比率を概ね維持した運用を行いました。

○投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国を主要投資対象国(中国、インド、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム)として投資を行いました。

当期は経済指標の改善やIT企業の堅調な決算などを背景に上昇した中国、2017年2月に発表された2017/18年度予算案の内容や3月に行われた地方選挙での与党の大勝などが好感されたインド、コモディティ価格の上昇や米大手格付け機関による国債の格上げなどを受けて上昇したインドネシアの保有がプラス要因となりました。

国別投資比率の推移



(注) 国別投資比率は、各サブファンドの組入比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第20期	
	2016年12月21日 ～2017年6月20日	
当期分配金	(円)	100
(対基準価額比率)	(%)	0.968
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	100
翌期繰越分配対象額	(円)	1,152

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当ファンドは国別の組入比率を概ね基本配分と同水準に維持し、各国の個別要因によって極端に割安・割高になったと判断する局面においては機動的に組入比率の変更を行っていく方針です。

○投資先ファンド

2016年11月の米国大統領選挙以降に見られた新興国からの資金流出懸念は落ち着きを見せ、多くのアジア新興国の株式市場は堅調に推移しています。一方で、米国トランプ政権の政策や米連邦準備制度理事会(FRB)の動向など主要国の金融政策は引き続き不透明であり、今後も日々の報道や様々な思惑から資産価格の変動性が高まる局面も推測されます。そのような局面では株価の短期的な変動にも耐える投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが大切であると考えています。

引き続きバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を継続していく所存です。

お知らせ

○金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に基づき、信用リスク集中回避のための投資制限に関する文言または条項の追加など、投資信託約款に所要の変更を行いました。

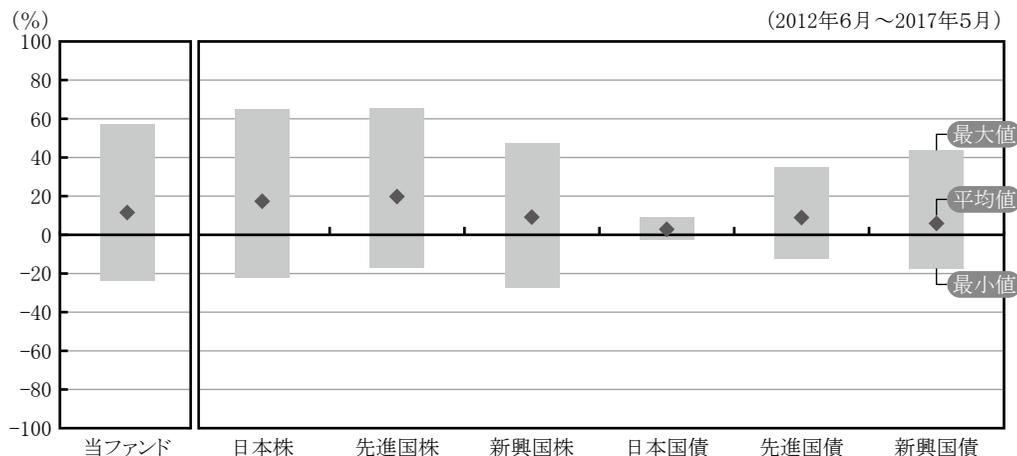
(変更日:2017年3月21日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2007年6月29日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする以下のルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド(米ドル建て)の投資信託証券に投資を行います。 イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ 投資信託証券は、今後変更される場合があります。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年6月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	11.5	17.3	19.8	9.2	2.8	8.9	5.9
最大値	57.3	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-24.0	-22.0	-17.1	-27.5	-2.4	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年6月から2017年5月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

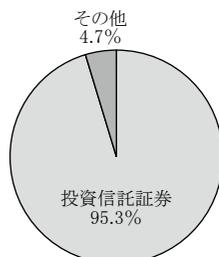
○組入ファンド

(組入銘柄数: 7銘柄)

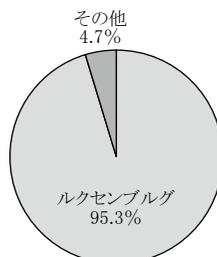
ファンド名	第20期末 2017年6月20日
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ	23.9%
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ	19.1%
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	14.4%
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	14.3%
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラスJ	14.2%
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ	4.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	4.6%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

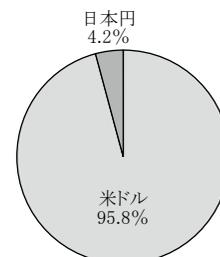
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第20期末 2017年6月20日
純資産総額	5,917,833,179円
受益権総口数	5,784,198,895口
1万口当たり基準価額	10,231円

* 当期中において追加設定元本額は93,558,634円、一部解約元本額は582,808,692円です。

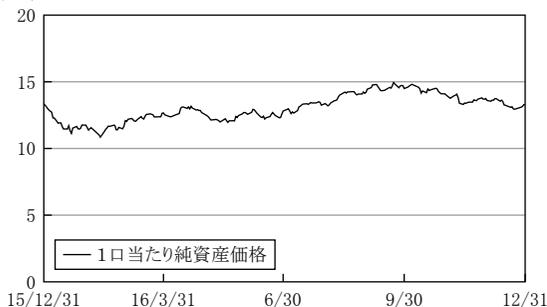
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2016年1月1日～2016年12月31日)

(単位)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

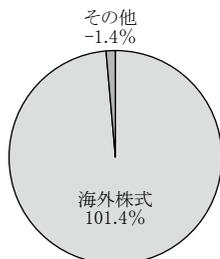
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:26銘柄)

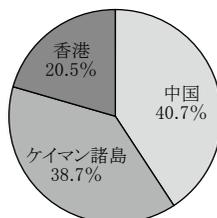
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	China Construction Bank Corp 'H'	銀行	中国	11.0%
2	Tencent Holdings Ltd	ソフトウェア・サービス	ケイマン諸島	9.9%
3	Alibaba Group Holding Ltd ADR	ソフトウェア・サービス	ケイマン諸島	9.4%
4	China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	9.2%
5	Industrial & Commercial Bank of China Ltd 'H'	銀行	中国	5.2%
6	Baidu Inc ADR	ソフトウェア・サービス	ケイマン諸島	5.1%
7	Bank of China Ltd 'H'	銀行	中国	5.1%
8	CNOOC Ltd	エネルギー	香港	4.6%
9	China Merchants Bank Co Ltd 'H'	銀行	中国	4.2%
10	China Petroleum & Chemical Corp 'H'	エネルギー	中国	4.2%

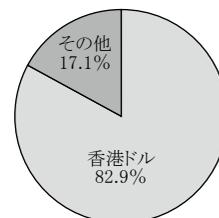
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は発行者の登録国・地域に基づいており、当該株式が上場されている、あるいは発行者が業務の本拠を置く国・地域とは異なる場合があります。

(注4) 資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移
(2016年1月1日～2016年12月31日)



○1万口当たりの費用明細
(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

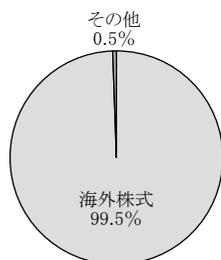
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:41銘柄)

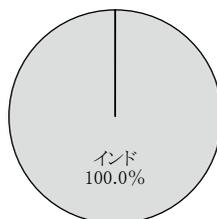
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	8.8%
2	Housing Development Finance Corp Ltd	銀行	インド	6.3%
3	Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	4.9%
4	Tata Consultancy Services Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	4.4%
5	Tata Motors Ltd 'A'	自動車・自動車部品	インド	4.1%
6	Dr. Reddy's Laboratories Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.6%
7	LIC Housing Finance Ltd	銀行	インド	3.5%
8	Reliance Industries Ltd	エネルギー	インド	3.5%
9	ITC Ltd	食品・飲料・タバコ	インド	3.4%
10	Bharti Airtel Ltd	電気通信サービス	インド	3.4%

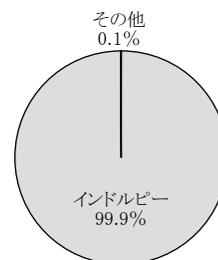
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



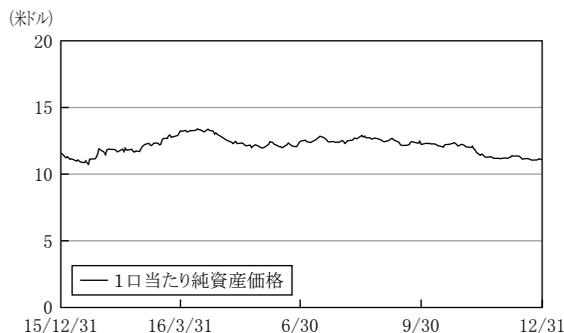
(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移
(2016年1月1日～2016年12月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

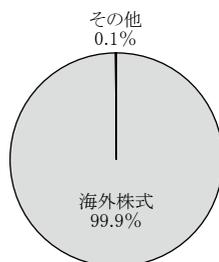
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:46銘柄)

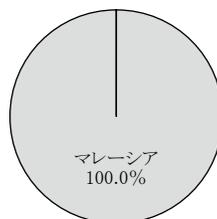
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Public Bank Bhd	銀行	マレーシア	10.0%
2	Tenaga Nasional Bhd	公益事業	マレーシア	9.7%
3	Malayan Banking Bhd	銀行	マレーシア	5.8%
4	Genting Malaysia Bhd	消費者サービス	マレーシア	5.3%
5	Sime Darby Bhd	資本財	マレーシア	5.0%
6	Genting Bhd	消費者サービス	マレーシア	4.9%
7	CIMB Group Holdings Bhd	銀行	マレーシア	4.6%
8	Ihh Healthcare Bhd	ヘルスケア機器・サービス	マレーシア	3.7%
9	Petronas Chemicals Group Bhd	素材	マレーシア	3.5%
10	DiGi.Com Bhd	電気通信サービス	マレーシア	3.3%

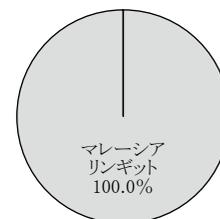
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

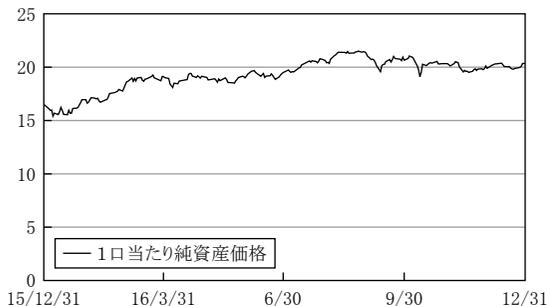
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2016年1月1日～2016年12月31日)

(米ドル)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

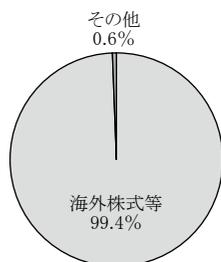
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 49銘柄)

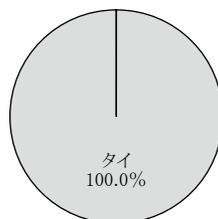
(2016年12月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	PTT PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	10.1%
2	Siam Commercial Bank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	6.4%
3	Siam Cement PCL NVDR	素材	タイ	6.3%
4	CP ALL PCL (Foreign Market)	食品・生活必需品小売り	タイ	5.7%
5	Airports of Thailand PCL (Foreign Market)	運輸	タイ	5.7%
6	Advanced Info Service PCL (Foreign Market)	電気通信サービス	タイ	4.8%
7	Kashikornbank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	4.7%
8	PTT Global Chemical PCL (Foreign Market)	素材	タイ	4.4%
9	PTT Exploration & Production PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	4.1%
10	Bangkok Dusit Medical Services PCL (Foreign Market)	ヘルスケア機器・サービス	タイ	3.8%

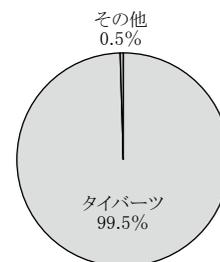
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移
(2016年1月1日～2016年12月31日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年1月1日～2016年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

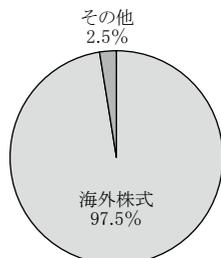
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:37銘柄)

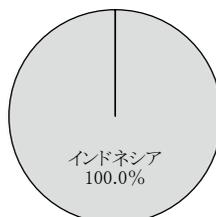
(2016年12月31日現在)

順位	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	10.0%
2	Bank Central Asia Tbk PT	銀行	インドネシア	8.7%
3	Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	8.5%
4	Astra Internasional Tbk PT	自動車・自動車部品	インドネシア	7.3%
5	Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.8%
6	Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.0%
7	Semen Indonesia Persero Tbk PT	素材	インドネシア	4.0%
8	Matahari Department Store Tbk PT	小売	インドネシア	3.8%
9	Gudang Garam Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	3.5%
10	Perusahaan Gas Negara Persero Tbk PT	公益事業	インドネシア	3.4%

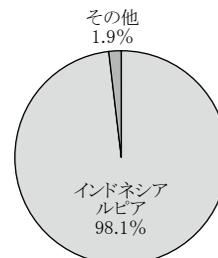
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

その他の組入ファンドについては、運用報告書(全体版)で詳細な情報をご覧ください。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・ 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・ シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。